事業所訪問

こんにちは健保組合です！

有限会社 青山運輸 の巻

日本列島も梅雨入りの声が聞こえはじめ、私たちの住む関東地方も雨の日が続くようになった平成十年六月十日、第三〇回目の事業所訪問先としてお邪魔したのは、千葉市中央区に本社を構える有限会社青山運輸でした。

同社にお邪魔することとなったきっかけは、二つありました。一つは、今、熱闘が展開されている事業所対抗野球大会に青山運輸野球部が何度も出場され、過去に二度優勝を飾られています。他のチームからも強豪として一目置かれているほどの実力をおもちものことから、その強さの秘訣を探ろうと思いました。もう一つは、事業所における検診後の保健指導を組合に依頼され、先般、保健婦を派遣したことから、その後の社員の方々の反応をお聞きしようと訪問をお願いし、快諾していただきました。

野球が生みだす社内の信頼関係

この日も、あいにくの雨が降っていました。しかしながら、その雨が木々を洗い、緑をいっそう際立たせているなか、私たちは車を今日の目的地に走らせました。青山運輸は千葉港に面したところに位置しており、大小の船がすぐ近くで見られるところにありました。

同社に到着し、二階事務室のドアをノックして「こんにちは健保組合です」と入室すると、青山社長が私たちを出迎えられ、応接室に案内してくださいました。社長の奥さまも同席くださり、取材が始まりました。

最初の話題は、どちらからともなく、やはり野球についてでありました。青山社長はかつて学生時代、野球部に属されたそうですが、現在は「野球は見守るだけで、趣味のゴルフを楽しんでいる」とおっしゃり、もっぱら野球部の運営は、社員の経験者に任せておられるとのことでした。穏やかに笑顔で野球について話される口調には、従業員との深い信頼関係が感じられました。さらに奥さま（こちらはバレーボールの名選手だそうです）は、野球大会があればグラウンドに足を運び、温かい声援を送ってくださっているとのことを、まるで自分の子どものことを話すように語られた表情が印象的でした。

左から青山武司社長、進氏（長男）、奥さまの広子さん

残念なことに、今年の大会は練習不足がたたってか、初戦で敗退されましたが、冒頭に書いたように強豪というばかりではなく、チームワークのとれた素晴らしい野球部は、こうした家族的な社風から生まれてきたのでしょう。

「野球が仕事やその他いろいろなところでも社員間の親近感を生みだしている」との社長の言葉に、重みを感じました。

保健婦の派遣で社員の健康意識変わる

次に話題は、社員の健康管理についてに移行しました。

これも前述しましたが、過日、組合から保健婦を派遣し、保健指導を実施してくださったことから「最近、従業員の意識が変わったような気がする」と奥さまは目に見えない社員の方々の変化を話されました。

そもそも、同社の健康診断は、もちろん事業主の責任で行うことは承知しておられながら、なかなか実施することができず、定着するまでに経営者の方々のご苦労が多々あったようです。やっと、実施にこぎ着けたのだそうですが、そこから先、つまり検診後のフォローをいかにすべきかに頭を悩められ、検診を無駄にしないためにも、また、会社の生産性や社員の方々の将来のためにも、有効な方法を模索されてこられたそうです。そこで、組合に保健婦派遣の依頼をされたそうなのです。

私たちが、保健指導に保健婦とともにお邪魔したときの従業員の方々は、素朴な疑問を保健婦にぶつけてきました。素朴な疑問といってもご本人にとっては深刻な場合もあり、それを解決できる環境がなかったのが実態だったのかもしれません。

今年の野球大会に出場した野球部の皆さま

たとえば、自覚症状が顕著で医療機関に受診する場合は、医師に相談できますが、そこまで悪化しない場合は時間的制約もあってか、そのまま経過してしまうケースが多いようです。こうした生活習慣病予備軍を水際でフォローすることが、私たち組合の大きなテーマなのです。

現場の方々と直接交流できて、皆さまの健康管理に対する意識や、健康状態がよくわかり本当に勉強になりました。こうした機会をつくってくださった同社に感謝するとともに、今後も継続して保健指導等の実施をお願いしました。

手堅い事業で三〇年の歴史を刻む

話題は、社史に移行しました。

青山運輸は、昭和四十七年に会社組織として産声をあげ、当時は、千葉港に船で輸送された原木の運搬を主とされていたそうです。住宅建築が盛んなころは、これも好調でしたが、環境問題から森林伐採が容易にできない現在は、多岐にわたる業種に進出され、「時代に生き残るため、トラック一台でもおろそかにしないようにすること」を肝に銘じて、ご苦労されているようでした。

運輸業界においてまだまだ景気回復の兆しがみえそうもない現在、会社運営は経営者の手腕によるところが多く、将来の成り行きを見つめながら、手堅く事業を展開されておられる同社は、まもなく三〇年という歴史が裏付けるとおり、千葉の港に立派な足跡をこれからも残されていくことと私たちは確信しました。

最後に、健保の現況を説明し、今後の少子高齢化の進展が社会に及ぼす影響等をお話しすると、「一人ひとりが、健康増進にもっと関心をもって健康な高齢者の社会をつくらなければいけないし、そのためには、私たちが積極的に動機づけをする必要がある」、さらに「健康者の多い組合にすれば負担する保険料も安くてすむ」と、奥さまが率直な感想をお話しくださいました。そのおことばに私たちが、「実に的を射たお考え」と称賛したことはいうまでもありません。

こうして、話題に事欠くことなく、時間が過ぎて今日の取材を終えることとなりました。

ご協力くださった皆さん、本当にありがとうございました。

フランスでは、世界中が注目しているサッカーのワールドカップが開催されています。そのプレーに魅せられて寝不足の方も多いかと思いますが、体調を整え、来る夏を万全の体調でお迎えください（われらの日の丸が、どこまで世界と闘えるのか楽しみですね）。